



一 連絡令議開催 對米交渉不成立
 大勢ヲ制シ今後開催ニ至レ迄ノ諸般ノ手
 順ニ就キ審議決定ス
 十一月一日御前令議ニ於テ國家ノ最高意思
 決定事ヲ前ニ連絡令議及閣議ヲ開ク
 十一月二十九日重臣ヲ宮中ニ招キ總理之ト
 懇談ス
 右ニ關シ御上ハ重臣ヲ御前令議ニ出席
 セシメテ如何ノ御意ヲ御前令議ニ如キモ總理
 國務ハ土貝任レ者ニ於テ決スルヲ可トスルニ日
 奏上ス

一 開戦ノ翌日宣戦ヲ布告ス
 宣戦ノ布告ハ宣戦ノ詔書ニ依リ公布ス
 右ノ樞密院ニ御諮詢アラセラルル日時ハ機密
 保持上布告ノ日トスルコトトス
 二 果然米武官ヨリ來電
 米文書ヲ以テ回答ス今々絶望ナリト
 曰フ
 一 四原則ノ無條件承認
 二 支那及佛印ヨリノ全面撤兵
 三 國民政府ノ承認
 四 三國同盟ノ文化化

昭和 年 月 日

米ノ回答全ク高壓的ナリ而モ意圖極メテ
明確九國條約ノ面確認是ナリ
對極東政策ニ何等變更ヲ加ルルノ識意全
クナシ
交渉ハ勿論決裂セナリ
之ヲ帝國ノ開戦決意ハ踏切リ各易ト
ナレリ芽出度ノ之レ元佐ト云フベシ
之ニ依リ國民ノ腹ヲ堅マルベシ國論モ
一致シ易カルベシ

機密 戰爭 日記

第二十卷

昭和 年 月 日

一 米ノ回答全文接受

内容ハ滿洲事變前ヘノ後退ヲ徹底的ニ要求
シテ其ノ言味誠ニ至リテ盡セリト云フベシ

二 米ノ世界政策對極東政策何等變化

ナシ現状維持世界觀ニ依ル世界制覇朝
之ナリ

三 今ヤ戰爭ノ一途アルベシ